

元興寺文化財研究所協力講座

2020年7月改訂版

〈元興寺文化財研究所のご案内〉

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された貴重な「中世庶民信仰資料」の整理と性格究明、保存を目的として設置された調査室を前身としています。1961年には国内初の近代的手法による出土木製品の保存処理を実施するなど、半世紀以上にわたって民間唯一の総合的な文化財研究機関として指定文化財や身近な民俗資料など日本各地の様々な文化財の保存処理や調査研究を手掛け、文化財保存の先陣を切ってきました。

2016年には各種文化財の調査・修復・保存処理・科学分析を一手に担う「文化財の総合病院」として総合文化財センターを開設し、X線CT撮影装置などの最新機器の導入による新たな分析技術・保存処理技術の開発や、文化財保護の普及にも取り組んでいます。



〒630-8304 奈良市南肘塚町146-1 TEL:0742-23-1376 FAX:0742-27-1179 <https://www.gangoji.or.jp/>



近畿の寺々 I —文化財調査が解明した歴史と信仰—

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された仏教民俗資料を研究し保存処理するために創設され、以来半世紀にわたって日本各地の寺社に所蔵される文化財の調査や修復を行っています。本講座では、研究所・各研究員が手掛けた調査・研究の最新成果に基づいて、近畿地方の諸寺の歴史と信仰について分かりやすく解説します。

日時	テーマ
9月8日(火) 13:30~15:00	四天王寺亀井堂と飛鳥 —亀がつなぐ時空—
10月13日(火) 13:30~15:00	漂流木伝説の「現光寺縁起絵巻」を読み解く
11月10日(火) 13:30~15:00	元興寺経(藤原夫人願経)を読み解く—大陸からの仏教的世界観の受容—
12月8日(火) 13:30~15:00	東大寺金堂鎮壇具—陽劔・陰劔の発見と除物の謎—
1月12日(火) 13:30~15:00	東大寺—慶派仏師の南都復興—
2月9日(火) 13:30~15:00	中世の山寺と村々—靈山寺と富雄谷—

【講師】 元興寺文化財研究所研究員

【会場】 近鉄文化サロン阿倍野

【受講料】 各1回 会員1,320円、一般1,650円

9/8
(火)

四天王寺亀井堂と飛鳥—亀がつなぐ時空—

四天王寺境内には亀井堂と呼ばれる堂があり、ここには亀の形をした石槽があります。2019年、四天王寺と当研究所の調査でこの石槽が7世紀のものである可能性が明らかになり、大きな話題を呼びました。その調査・研究の内容について、担当研究員の生の声をお届けします。

【講師】総括研究員 佐藤 亜聖 【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



四天王寺亀形石槽、四天王寺蔵

10/13
(火)

漂流木伝説の「現光寺縁起絵巻」を読み解く

奈良県大淀町比蘇にある世尊寺は、古くは比蘇寺あるいは現光寺と呼ばれていた白鳳期草創の寺院です。その本尊は、光と音を放ちながら海上に漂い来たった霊木を仏像に刻んだと伝えるもので、縁起・霊験と歴史を絵巻二巻としています。これを読み解いてゆきます。

【講師】総括研究員 高橋 平明 【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



『現光寺縁起絵巻』、世尊寺蔵

11/10
(火)

元興寺経(藤原夫人願経)を読み解く —大陸からの仏教的世界観の受容—

聖武天皇の後である藤原夫人が、父である藤原原前の菩提を弔うために書写させた一切経が元興寺経です。同じく奈良時代に書写された一切経とお経の本文を比較しながら、大陸から日本へどのように仏典が伝わっていったのかをみていきます。

【講師】研究員 三宅 徹誠 【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



『阿毘達磨俱舍論』巻第23、元興寺蔵

12/8
(火)

東大寺金堂鎮壇具—陽劔・陰劔の発見と除物の謎—

国宝東大寺金堂鎮壇具は明治40年~41年に大仏さまの須弥壇の周囲から発見されました。この保存修復の過程で発見された「陽劔」「陰劔」や他の出土遺物の調査分析結果から、正倉院から持ち出され、行方知らずとなった“除物”との関係に迫ります。

【講師】総合文化財センター長 塚本 敏夫
【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



東大寺大仏殿

1/12
(火)

東大寺—慶派仏師の南都復興—

治承4年(1186)12月28日、平家の軍勢によって南都は炎に包まれ、鎮護国家の拠点たる東大寺が焼け落ちました。その復興は速やかに開始され、当時最高の仏師たちがしのぎを削りました。本講では、鎌倉時代における仏像群の復興を概観してまいります。

【講師】研究員 植村 拓哉 【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



東大寺南大門

2/9
(火)

中世の山寺と村々—靈山寺と富雄谷—

現在は壮麗なバラ庭園で知られる奈良・靈山寺。奈良時代、行基による開創を伝え、鎌倉時代の本堂(国宝)・三重塔(重文)など多くの文化財が残される、歴史的にも由緒あるお寺です。この靈山寺で近年再発見された鎌倉時代の木札文書を読み解き、地域社会の中心だった中世のお寺のあり方を探ります。

【講師】研究員 服部光真 【時間】13:30~15:00 【受講料】会員1,320円、一般1,650円



靈山寺

※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿倍野です。

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。

お申込み・お問合せは「近鉄文化サロン阿倍野」まで

掲載講座
専用ダイヤル

06-6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階

【受付時間】9:45~20:00(日曜・休講日は9:45~17:30)

※休講日 8/12(水)~8/16(日)、8/31(月)、9/29(火)、9/30(水)、10/29(木)~10/31(土)、11/29(日)、11/30(月)、12/29(火)~1/5(火)、3/31(水)

※8/13(木)~8/15(土)、12/29(火)~1/3(日)は受付業務を休ませていただきます。

ホームページへのアクセスはこちら

近鉄文化サロン

検索

【受講お申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入会手続きをお済ませください。
- 近鉄百貨店外館お得意さま、KIPSクレジットカード会員さま、近鉄友の会会員さま、満65歳以上の方は会員価格でご受講いただけます。 ※受付にて会員手続きが必要です。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。 ※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途) 詳しくは、お申込み時にご確認ください。

